

知的財産を権利化し 企業へのアドバイスも行う



●特許や商標を扱う技術者の「縁の下の力持ち」

最先端の技術の話を 発明者から直接聞ける仕事

【プロフィール】

羽鳥国際特許商標事務所

中村 希望 (26)

■ 2003年群馬工業高等専門学校環境工学専攻科卒(最終学歴:群馬工業高等専門学校環境工学専攻科修了)

■ 技術分野 知的財産・法律

弁理士は特許や商標(ブランド)などの知識的財産を扱う専門職で、弁護士や公認会計士と並ぶ法律系の国家資格です。仕事内容は、特許や商標を権利化するための代理を行うことが中心ですが、他人の権利を侵害しないか調査や鑑定を実施し、企業の研究開発へのアドバイスを行うこともあります。また他の企業とトラブルが生じた場合、時には訴訟までして問題解決を図ります。このように、弁理士は技術者の「縁の下の力持ち」として活躍する仕事なのです。

弁理士の魅力としては、さまざまな最先端の技術に接することができますが真っ先に上げられます。どのような課題があり、それを解決するためにどのような工夫をしたか、また、どのように試行錯誤してその発明をつくり上げたのか。その過程を発明者から直接聞くのはとても興味深く、いつもわくわくさせられます。

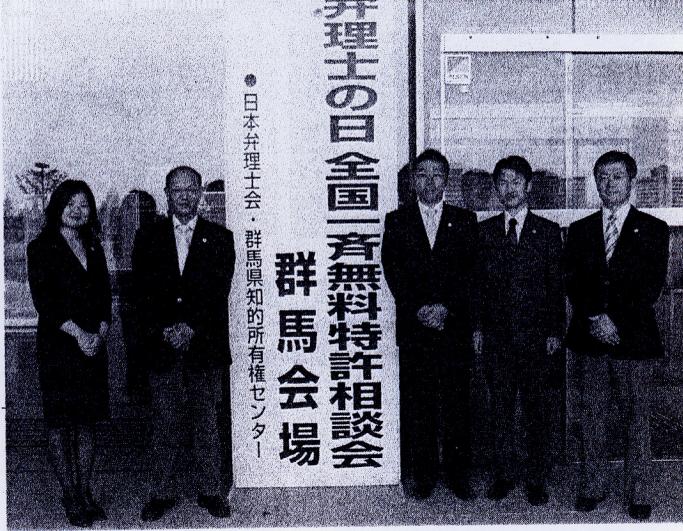
特許や商標を取得するまでにいくつもの難局を乗り越えなければならない時があります

特許事務所の仕事のほかに 公的な活動も幅広く行う

仕事を進める上で意識しているのは、自分の判断が一流的弁理士が下す判断だろうかと常に自問しつつ、アドバイスをすることです。弁理士のやり方一つで、強くて非常に財産価値のある権利になることもあります。最新の法改正や審査基準などに精通するよう努めし、実際の仕事を引き受けながらも勉強をさせていただいている毎日です。

特許事務所での仕事のほかに、公的な仕事として日本弁理士会(ちなみにここは、日本の弁理士がすべて入らなければならない団体です)の知的財産支援センターという機関に

が、無事に権利化できた時には、それまでの苦労が吹き飛ぶほどの満足感と安心感が得られます。そして、自分が担当した案件についての特許や商標が新聞や雑誌、テレビなどで取り上げられているのを見ると、知的財産の保護に貢献できたのだと、とても誇らしい気持ちになります。



●日本弁理士会・群馬県知的所有権センター

弁理士の日 全国一斉無料特許相談会 群馬会場

全国一斉無料特許相談会にて
群馬県の弁理士と

所属しています。知的財産のエンタテインメントセミナーを全国各地で行っていますが、これはスライド説明をともなう劇仕立てのもので、知的財産を、楽しく、かつ分かりやすく一般の方に知つていただくためのものです。弁理士が役者になりきっての「特許劇」も上演します。女優も体験できる(?)職業など、なかなかないと 思います。

さらに日本弁理士会の商標委員会にも所属し、日本を代表する弁理士の先生方とともに日本の商標制度に関する調査研究を行っています。こちらのほうはまだ所属してばかりなので、何も貢献できていないのですが、今後が楽しみです。

このように現在はいろいろな仕事を経験させていただき、充実した毎日を過しています。

学内で開かれた特許セミナーが 弁理士を知るきっかけに

私は高専在学中に「弁理士」という職業を知りました。学内で開

かれた弁理士による特許セミナーに参加して、すぐにこの国家資格に惹かれ、挑戦すると心に決めました。現在の事務所に勤務しているのも、専攻科で実施されたインターンシップがきっかけです。私が弁理士になることができたのも、高専在学中に素晴らしい先生方と出会い、たくさんの指導と励ましをいただいたからもあり、今は感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は母校の特許出願の代理人をしており、来年度からは知的財産授業の非常勤講師を務める予定です。今後も母校の知的財産のために尽力できればと思っています。

最近では外国での知的財産に関する相談が増えてきています。今後の目標は、諸外国の法制度に明るくなり、言語も習得して、グローバルな仕事をスマートにこなせるような弁理士になることです。